

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肝悪性腫瘍および肝疾患の病態と肝組織内 Hic-5 の発現、局在の関連についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2026年3月31日までに肝疾患の診断のため肝生検を行った方もしくは今後行う方、肝臓悪性腫瘍のため肝切除を行った方

2. 研究目的・方法

肝臓の線維化は肝機能、肝発癌に関わる重要な増悪因子であり、ウイルス性肝炎に加え近年増加しているアルコール性、非アルコール性脂肪肝炎も肝臓に炎症、脂肪化や線維化をもたらします。

一方、肝臓には肝細胞癌に加え、未だに有効な治療法が確立されていない肝内胆管癌、転移性肝細胞癌などさまざまな癌が発生する臓器です。

今研究でターゲットとしている Hic-5 は肝臓の線維化の進展や悪性腫瘍の増殖しやすさに影響すると言われています。この分子を用いた肝臓治療への応用が検討されています。しかし、現時点では Hic-5 がヒト肝臓、ヒト肝臓がん組織においてどのように発現し実際の肝機能や線維化、癌の悪性度・予後に関連しているかはわかっていません。

そこで今研究で肝臓の病態や肝臓悪性腫瘍において Hic-5 の発現量や発現場所を検討することで炎症、脂肪化、線維化などの肝病態の進行度や肝悪性腫瘍の病態の違い、悪性度や予後を評価できるマーカーとしての有用性を評価したいと考えています。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、
昭和大学病院長の研究実施許可を得てから 2026年 3月 31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

肝疾患の原因、病歴、血液検査結果、画像検査結果などの経過や診断のためにおこなわれた結果。

肝疾患診断のための肝生検組織検体、悪性腫瘍のために切除した肝臓検体の一部

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門

研究責任者氏名：坂木 理

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8000